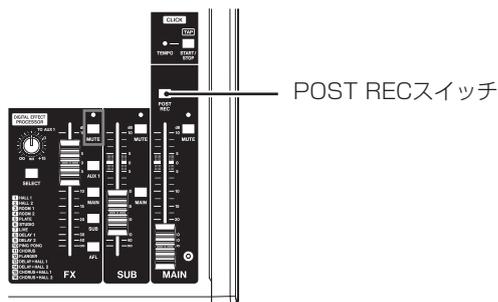


OBS Studioなどの配信用アプリケーションで使用するための設定方法

ここに記載した手順は、配信用アプリケーションを起動する前に行ってください。

Model 12本体の設定

1. Model 12本体のUSBオーディオモードを「STEREO MIX」に設定します。
設定方法については、取扱説明書「第12章 USBオーディオインターフェース」の「USBオーディオモード」をご参照ください。
2. 配信する音声にMAINフェーダーを有効にするため、POST RECスイッチを「オン」にします。



- Macの場合は、上記の対応で配信用アプリケーションをご使用いただけます。

パソコンのサウンド設定 (Windows)

パソコンの入出力デバイス、サンプリング周波数、ビットレートおよびチャンネル数を使用する環境に合わせて設定します。

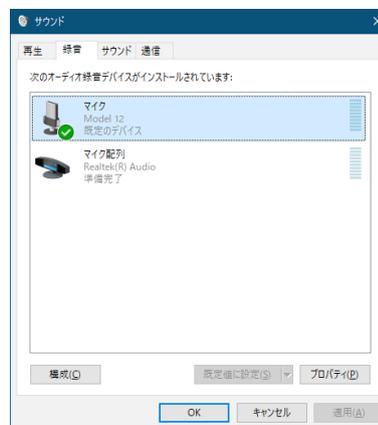
1. 「サウンド」の設定画面を開きます。



メモ

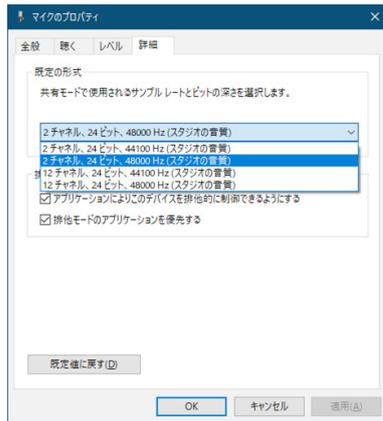
デスクトップ画面の右下のサウンドアイコンを右クリックし、「サウンドの設定を開く」から「サウンド」を開くことも可能です。

2. 出力デバイス項目を「スピーカー Model 12」に設定します。
3. 入力デバイス項目を「マイク (Model 12)」に設定します。
4. 「サウンド コントロール パネル」をクリックし、「サウンド画面」を開きます。
5. 「録音」タブ画面を表示し、「Model 12」を選択します。

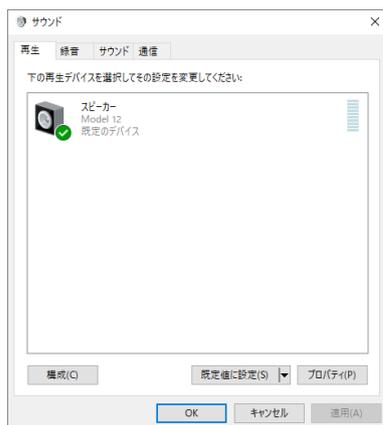


6. 「Model 12」の「プロパティ」をクリックし、「マイクのプロパティ」画面を開きます。

7. 「詳細」タブ画面を表示し、「既定の形式」を設定します。

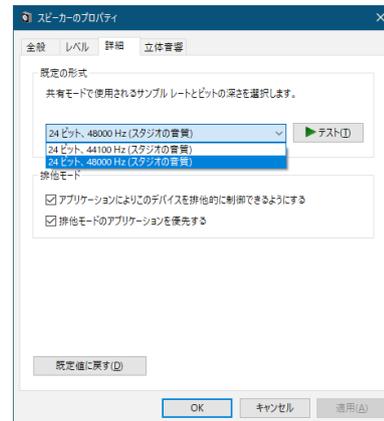


- OBS Studioなどの2チャンネルのオーディオデバイスを対象とするアプリケーションを使用する場合は、2チャンネルの設定を選択します。それ以外の場合は、12チャンネルを選択します。
 - サンプルレートは、本機にロードするソングのサンプルレートに合わせてください。ソングをロードしない場合は、いずれのサンプルレートも使用できます。
8. 「再生」タブ画面を表示し、「スピーカー (Model 12)」を選択します。



9. 「スピーカー (Model 12)」の「プロパティ」をクリックし、「スピーカーのプロパティ」画面を開きます。

10. 「詳細」タブ画面を表示し、「既定の形式」を設定します。「再生」タブ画面の「既定の形式」の設定は、「録音」タブ画面で設定したサンプルレートとビットの深さに設定してください。



11. 配信アプリケーションを起動し、配信などを行います。
12. 配信終了後、マルチチャンネルを使用する他のソフトウェアを使用する場合は、設定を「マルチチャンネル」に戻します。
- 手順1. のUSBオーディオモードの設定を「MULTI INPUT」にします。
 - 手順7. のマイクのプロパティの設定を「12チャンネル」の設定にします。